

文教公安常任委員会での主な質疑

【4月25日】

- 国宝指定「縄文の女神」について（教育への活用、今後の研究、商標登録等）
- 脱法ドラッグについて（取締り、教育現場での指導、社会全体での啓発活動等）

【7月2日】

- 交通管制センターについて
- 交通取締り、行政処分について
- 高校推薦入試について
- 「スーパー医進セミナー」の成果について（医師の要請・教育）
- 産業高校と地域ニーズとの関連について

【8月22日】

- 教育現場における熱中症への対応について
- いじめと警察との関わり、教育現場の対応について



交通管制センター

脱法ドラッグ

子供達の興味をひくようなパッケージになっています。規制の強化が求められます。



国宝指定

「縄文の女神」

舟形町の西ノ前遺跡から出土し、「縄文の女神」の愛称で親しまれている縄文時代中期の「西ノ前土偶」（県所有）の国宝指定が6日付の官報に告示され、正式に決まった。

4月20日に文化審議会が文部科学相に国宝指定を答申していた。

産業振興・雇用創出対策特別委員会での主な質疑

【4月26日】

- 農業の6次産業化、食品関連産業の企業誘致等について
- 小水力発電における水利権等について

【8月23日】

- 新エネルギー開発によるファンド（基金の設立）について

最上地域議員協議会（7月13日）での主な質疑

- 最上地域の医療について
- 県立病院建て替えの合理的な理由について

- ・ 第6次保健医療計画に改築について盛り込まなければなりません。
- ・ 総合診療に加え特徴ある診療科目を。

文教公安常任委員会現地調査（5月14日～16日、村山・置賜地域）

- 西川町立西川小学校・寒河江市立高松小学校（フューチャースクール実証校）
- 山形警察署（生活安全ステーション）・県立山形工業高校・県立博物館
- 県立山辺高校（看護科、食物科、福祉科）・県立興譲館高校（スーパーサイエンスハイスクール指定校）
- 長井警察署・県立村山特別支援学校楯岡校



西川町立西川小学校：H24.4に統合し、開校した新校舎には木材がふんだんに使用されています。



寒河江市立高松小学校（フューチャースクール実証校）：情報技術を用いた教育の研究校。



生活安全ステーション（民間交番）



県立山辺高校（看護科、食物科、福祉科）



西川小学校（図書館）にて熊谷校長と



寒河江市立高松小学校にてタブレットPC操作を体験



米沢興譲館高校で意見交換

誌面の都合により、質疑内容を要約しております。県のホームページから県議会一議年中継と進んでいただくと、一般質問の様子が動画でご覧いただけます。
山形県ホームページ
<http://www.pref.yamagata.jp/>

※この県政報告紙は県民の皆様へ県政、議会活動について広く知っていただくため、県議会議員に交付される政務調査費を活用して作成しております。

■ 現地調査を行って

教育現場においては、様々な特色ある教育への取り組みがあると感じました。最上地域においても、もっと特色ある教育への取り組みが必要だと思います。

生活安全ステーション（民間交番）とは、地域の人が協力し合い交番の役割をするものです。派出所、駐在所は広域的に統廃合していく方向ですが、生活安全ステーションも含め地域の方が安心できる環境作りを我が地域でも行っていくべきだと思います。



納得のいく回答を得るまで、粘り強く訴えていかなければ物事は動きません。私は、皆さんの代弁者としてこれからも皆さんの声を県政に届けて参ります。どこにでも伺って詳しく県政報告をさせていただきます。お気軽にご連絡下さい。よりよい新庄最上地域にするために。

山科ともものり 県政報告 Vol.4

発行日／平成24年9月吉日 発行／山科朝則事務所



▼被災地からの中長期的な避難に対応する考えはあるか。

吉村知事 原発事故の影響で帰宅が困難な地域について、町外に住民コミュニティを移して行政サービスを提供する「仮の町」の構想が、福島県の大塚、高岡、大熊、浪江の4町で検討されている。同県いわき市などが候補地となっているが、インフラ整備などが課題のようだ。佐藤雄平福島県知事が、先月30日に、県庁を訪れた際、中長期的な避難先として、本県内に受け入れる用意があることを伝えた。佐藤知事は住民の意向を確認しながら対応するとしており、今後は仮の町に限らず、集団的な長期避難の要請があれば、前向きに調整を図る。

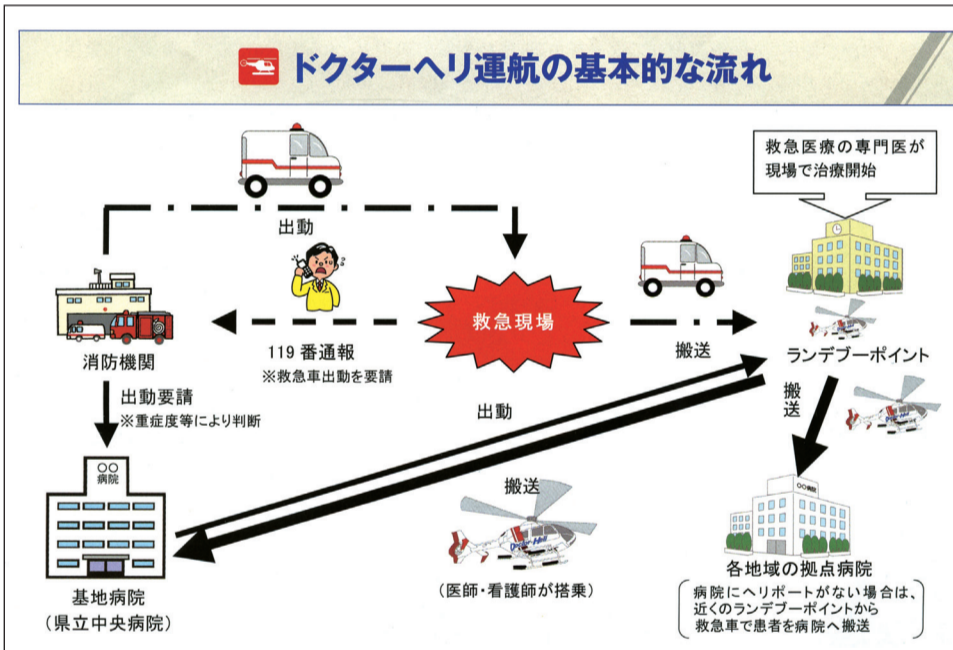
▼11月に就航予定のドクターヘリについて、冬シーズンにも可能なランデブーポイント（臨時離着陸場）の確保をどう進めているのか。

ヘリ離着陸場追加選定急ぐ
大泉亨子健康福祉部長
冬シーズンも常時使えるポイントを各市町村に最低1カ所可能なら複数箇所を確保したい。そのため、全市町村に対して先月、あらためて選定の協力を要請した。除雪体制の整備が大きな問題で、融雪設備の設置、除排雪の経費は国に財政支援措置を働き掛ける。年間を通してドクターヘリの威力が最大限発揮できるよう、引き続きランデブーポイントの追加選定に努める。

原発事故の「仮の町」受け入れ 要請あれば前向き検討 知事答弁

福島第1原発事故に伴って帰宅困難となった福島県双葉郡の自治体ほかの自治体に一時的に生活拠点を設ける「仮の町」構想について、吉村美栄子知事は福島県側から受け入れ要請があれば前向きに検討する考えを示した。福島県に対し、県は既に中長期的な集団避難を受け入れる意向を示している。

（平成24年6月23日 山形新聞より）



日頃より皆様には多くのご意見、ご指導を賜りありがとうございます。県議会議員の立場を預かり、1年半になろうとしております。勉強と研鑽の毎日です。地域の現状を知れば知るほど、皆様の声と想いを県政に反映させなければならないという責任を感じております。

さて、平成24年度最初の定例会（6月議会）において、一般質問の機会を得ました。皆様の期待が大きい県立新庄病院の全面建て替えと機能強化、新庄最上地域の医療体制について質問を致しました。また、震災以降の支援のあり方の一つとしていわゆる「仮の町」集団移転についても大きな柱として県の姿勢を問いました。次ページ以降に内容を掲載しております。

産業振興（働く場）、農業振興、インフラ整備、教育環境などこの地域には課題が山積しております。これからも機会あるごとに皆様の声を県政に反映させるべく努力して参ります。地域の再生、次の世代へ誇りと自信の持てる地域を作るため頑張っ参ります。

皆様のご意見をお寄せください。
山科朝則事務所
〒996-0033 新庄市下金沢町4番20号
TEL.0233-25-8778 FAX.0233-25-8777
山科ともものりホームページ
<http://www.yamashina.jp/>